

大崎小学校 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 早副 順子

- 1 日時 令和3年12月 1日(水) 2・3校時 図書室
- 2 学年 第4学年 18名
- 3 単元名 「大崎上島町の海の生き物をふやそう」～海ってきれいなだけでいいの?～
- 4 単元について

(1) 単元観

大崎上島は、昔から造船や廻船で盛えており、海との関わりが深い町である。児童は、本土へ行くためには必ずフェリーに乗らなければならない、海があることで不便だと思う気持ちがあることや、海があるのが当たり前と思っている児童が多く、大崎上島の海に自信や誇りをもっている児童は少ない。しかし、大崎上島を訪れた方に感動をあたえるのは、美しい海である。この美しい海に、自信と誇りをもち、大崎上島の美しい海を他地域にアピールすることができれば、地域の貢献につながる。「海の生き物探検に行こう」を扱うことは、大崎上島に誇りと愛着をもち、将来を担うたくましく生きる児童の育成、さらに、海を守る活動をしてくださっている地域の方とのつながりが深まり、自分も、地域の一員として主体的に関わろうとする児童の姿が期待されることで、本単元を設定した。

(2) 児童観

本学級の児童は、3年生時に「大崎上島学」として、三校で「大崎上島町めぐり」にでかけ、大崎上島町の特徴や、よさについて学習してきた。児童は、美しい自然や、造船の歴史を知り、大崎上島町は、昔から海との関わりを大切にしてきたことを学んでいる。そして、「これからも海を大切にしたい。」「海の生き物についてもっと知りたい。」という思いが高まっている。4月に行った「総合的な学習の時間」におけるアンケートの結果、「これから、大崎上島の海についてどのように学習を進めていきたいですか。」という記述項目において、「海が本当にきれいなのかを調べたい。」「海にはどんな生き物がいるのかを調べに行きたい。」「海とごみの影響について調べたい。」「どんな魚が釣れるのか聞いてみたい。」と、全ての児童が肯定的に捉えていた。そこで、本単元の活動を通して、自分たちの疑問を解決するために、地域の方や専門家の方と関わることを通して、地域に誇りをもって地域の未来のために実行しようとする意欲を高めていきたい。

(3) 指導観

指導に当たっては、最初に海についてのアンケートから得た情報をウェブで整理する。次に、実際に大串海岸で「海辺の生き物探し」を行ったり、漁師の方にインタビューをしたりすることで、正確な情報を収集させる。その際に、誰に聞いたらよいか、どうやってアポイントメントをとるか、電話の仕方、手紙の書き方等を児童に考えさせることで、主体的な学びを推進していく。本単元においては、実際に体験したり、地域の専門家の方にお話を聞いたりした中で得た正確な情報を収集・整理し、各校でまとめていく。そして、本時では各校で考えたことを町内の4年生同士で交流し合うことで、表現力を高めるとともに、多様な見方・考え方に触れ、自己や友だちの良さや頑張りを認める力を高めていきたい。

5 単元の目標

- 大崎上島の海の生き物との変化を探るためには、どのような手順で、どのように情報を集めたら

よいかを考え、主体的に課題を追求する。

- 大崎上島の海を守るために、尽力されている地域の方の思いを受け止め、これからの大崎上島の海の未来について考える。
- 地域の方や身近な人に尋ねたり、友だちの意見を聞いたりして、主体的に人と関わろうとする。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・探究的な学習の過程において、豊かな海にするために必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。	・実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立てて、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	・探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

7 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

- 育成しようとする資質・能力及び態度（◎は本単元で重点を置く資質・能力）

【思考力，判断力，表現力等】 ①豊かな思考力・判断力・表現力 (考え伝える力)	◎	・海についての必要な情報を収集し、収集した情報を整理することを通して、海の豊かさについて自分なりの考えをもつことができる。 ・自分の知識や経験から自分なりの考えをもち、分かりやすくまとめ、表現することができる。
【思考力，判断力，表現力等】 ②課題発見力 (?を見付ける力)	○	・友だちの考えと比較したり、経験と照らし合わせたりして、課題を明確にすることができる。 ・課題からゴールを意識したり、学習する意義を見いだしたりすることができる。
【学びに向かう力，人間性等】 ③主体性・粘り強さ (やりぬく力)	◎	・一つの課題が解決した後も、さらなる課題を迫及し、日常生活に学びを広げることができる。 ・うまくいかないことがあっても、諦めず最後まで課題解決に向けて取り組むことができる。
【学びに向かう力，人間性等】 ④多様性・協調性 (認める力)	○	・異なる意見を受け入れたり、みんなの意見をまとめたることができる。 ・学習を振り返り、自己や友だちの良さや頑張りを認めることができる。
【学びに向かう力，人間性等】 ⑤郷土愛 (島を愛する心)	◎	・大崎上島町の海を守る活動をしている方がいることを知り、大崎上島を愛する心をもつことができる。 ・大崎上島の海を豊かな海にするために自分にできることを考えて実行することができる。

8 本単元のパフォーマンス課題およびそのルーブリック

(1) パフォーマンス課題 (48/48 時)

**今の大崎上島周辺の海は豊かと言えますか？自分の考えと理由を書きましょう。また、
今後も豊かな海を守るためにどうすればよいか自分にできることを書きましょう。**

(2) パフォーマンス課題の評価項目およびそのルーブリック

①豊かな思考力・判断力・表現力 ③主体性・粘り強さ ⑤郷土愛

	探究に向かう態度や毎時の記録, 事後評価アンケートの記述		
	①豊かな思考力・判断力・表現力	③主体性・粘り強さ	⑤郷土愛
A	今の大崎上島の海について、単元を通して収集した情報を整理し、分かりやすく文章にまとめて表現することができる。	豊かな海を守るために、自分の日常生活をどのように改善したいかについて記述し、実行することができる。	地域には、海が豊かになるように努力をしてくれている方々がいることを知り、自分も地域の海を守りたいという思いをもち、できることに取り組もうとしている。
B	今の大崎上島の海について、単元を通して収集した情報を整理し、文章にまとめて表現することができる。	豊かな海を守るために、自分の日常生活をどのように改善したいかについて記述することができる。	地域には、海が豊かになるように努力をしてくれている方々がいることを知り、自分も地域の海を守りたいという思いをもっている。
C	今の大崎上島の海について、単元を通して収集した情報を整理して文章にまとめることができていない。	豊かな海を守るために、自分の日常生活をどのように改善していきたいかについて記述することができていない。	地域には、海が豊かになるように努力をしてくれている方々がいることを知ったが、海を守りたいという思いはもてていない。

9 指導計画 (全 48 時間)

時	学習内容	評価	
第1次 課題の設定	1・2/48	・大崎上島町の海についてのアンケートを取り、町民と来島者のアンケート結果を比較しながら、大崎上島の海のイメージマップを作成する。	主④
	3・4/48	・ウェビングを広げて、「大崎上島の海は、本当にきれいで、生き物もたくさんいるのかを調べよう」という課題を設定し、学習計画を立てる。	思②
情報の収集 整理・分析	5～10/48	・『大串海岸の海の生き物探検』を行い、大崎上島の海の生き物の実態調査をする。…5/6 (金) 11時～15時30分 (講師：木江小学校校長の平田修先生、元東野小学校長の岡田眞先生)	知技 主③
	11～16/48	・十年前に大崎上島にいた生き物ラミネート集を基に、昔と今の生き物の違いを比較させながら整理分析する。	思①

まとめ・創造・表現	17～22/48	・各校で分析結果をまとめる方法を考え、分かりやすく表現する。	思① 主④
第2次 課題の再設定	23・24/48	・「どうして大崎上島の海の生き物が、減っているのかを調べ、豊かな海を取り戻す方法を考えよう。」という課題を再設定する。	主② 主③
情報の収集 整理・分析	25～36/48	・大崎上島の今の生き物の様子や、生き物が減った理由を調べる。 ①大崎内浦漁協組合の中村さんから話を聞く。 ②昔と今の海の様子の違いを地域の人から聞く。 ③広島商戦高等学校の先生から話を聞く。 ・海と山の関係、大崎内浦漁業協同組合で行っている活動を知り、自分たちができること考える。 ・取組を町内に広げ、他校の児童に提案するために情報を整理する。	主⑤ 思② 思①
まとめ・表現	43～46/48 (本時 45・46/48)	・グループごとに、提案の仕方を決め、よりよい提案になるように、情報を整理し、まとめる。 ・学級でプレ発表会を行い、改善点について話し合う。 ・三校合同で、自分たちが考えた提案を発表し合い、考えを深める。	思① 主③ 主④
ふり返り	47・48/48	・これまでの活動を振り返るとともに、他校の提案を聞き、自分の生活や暮らしに生かせることを考え、話し合う。	思① 主③ 主⑤

10 本時の授業について

(1) 本時の目標

- 「大崎上島の海の生き物が減った原因と、大崎上島の海の生き物を守るために自分たちができること」について三校で意見交流をすることを通して学習を振り返り、自己や友だちの良さや頑張りを認めることができる。

(2) 本時の展開 (45・46/48)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) 「努力を要する」と判断した生徒への指導の手立て (◆)	評価の観点 (評価方法)
課題の設定 1 本時の課題を設定する。(全体) <ul style="list-style-type: none"> ・開会式 (講師の紹介) ・めあての確認 	◇開会式の司会は児童が行う。(大崎小) ◇なるべく短時間で行う。 ◆タイムテーブルをしめす。	

本時の課題：色々な友だちの意見をしっかり聞き、大崎上島の海の生き物を守るために、自分にできることを考えよう。

情報の収集

2 グループ毎に発表し、意見交流を行う。

3 発表が終わるごとに、付箋に感想や意見を書く。

- ①大崎小 劇「未来からのSOS」
- ②木江小 テレビ番組
- ③東野小 プレゼンテーション

整理・分析

4 閉会式をする。

- ①各自が本時の振り返りを考える。
- ②各校1名振り返りを発表する。
- ③講師の方のお話を聞く。
- ④講師の方にお礼を伝える。

まとめ・創造・表現

振り返り

5 振り返りを記述する。

- ①各校で自分たちの発表への感想が書いてある付箋を分類整理する。
- ②発表を終えての振り返りを記述する。

6 次時の課題を考える。

◇順番の指示・指名は児童が行う。
(木江小)

◇意見交流をして、①発表形式のよかったところ②発表内容の感想の2点について付箋に書き(2分)、手を挙げて発表する。(3分)

◆①か②のどちらかに絞ってもよいので、一言感想を書くように声をかける。

◇閉会式の司会は児童が行う。(東野小)

◇講師の方には、専門的な見地からの感想と、3校の違い、共通点、それぞれの良さについても話をしてもらう。

◇他校のよかったところ、自校のよかったところ、自分のよかったところについて振り返りを書く。

◇これで終わりではなく、3学期は、大崎上島の海の魅力をアピールしたり、海を守るために自分たちにできることを実行したりして、課題をさらに追及していく。

主④

多様性・協調性

学習を振り返り、自己や友だちの良さや頑張りを認めようとしている。

【記述】